

# NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局



国土交通省

問い合わせ先

(所属) 交通環境部 物流課

(担当) 松本 ・ 田中 ・ 野村

(電話) 06-6949-6410

平成21年4月10日

## 関空深夜貨物便を活用した農水産物物流ネットワーク確立に向けたモデル事業調査の結果(概要)について

近畿運輸局では、平成20年度の国際物流効率化に関する取組みとして、下記のとおり「関空深夜貨物便を活用した農水産物物流ネットワークの確立に向けた調査検討」を行いましたので、調査結果の概要についてお知らせします。

記

### 1. 調査の趣旨・目的

海外における日本食ブームの広がりにより、今後、近畿圏からの輸出を促進していくためには、完全24時間空港となった関空を活用した輸出ネットワークの確立が急務となっていることから、この度モデル事業等を実施し、産地から関空への効率的な輸送、深夜貨物便の活用によるリードタイム短縮、輸送品質の保持など物流最適化に向けた検証を行い、関空を活用した農水産物物流ネットワーク確立方策を取りまとめた。

なお、本調査は関西の産学官で構成する国際物流戦略チーム(本部長:下妻 関西経済連合会会長)の取組の一環として実施した。

### 2. 調査・検討スケジュール

検討会議の開催	平成20年 6月26日
	平成20年12月 9日
	平成21年 3月 9日
モデル事業の実施	8月、12月

### 3. 検討会議参加機関・団体

近畿運輸局・大阪航空局・近畿農政局・大阪税関・神戸植物防疫所・関西経済連合会・関西国際空港株式会社・大阪府・和歌山県

### 4. 調査結果の概要

別紙のとおり

配布先

青灯クラブ

大阪経済記者クラブ

近畿電鉄記者クラブ

大阪海運記者会

陸運記者会(トラック部会)

海事関係業界プレス

# 関空深夜貨物便を活用した農水産物物流ネットワーク 確立に向けたモデル事業調査結果〈概要〉

平成21年3月  
近畿運輸局交通環境部物流課

## □ 調査の趣旨・目的

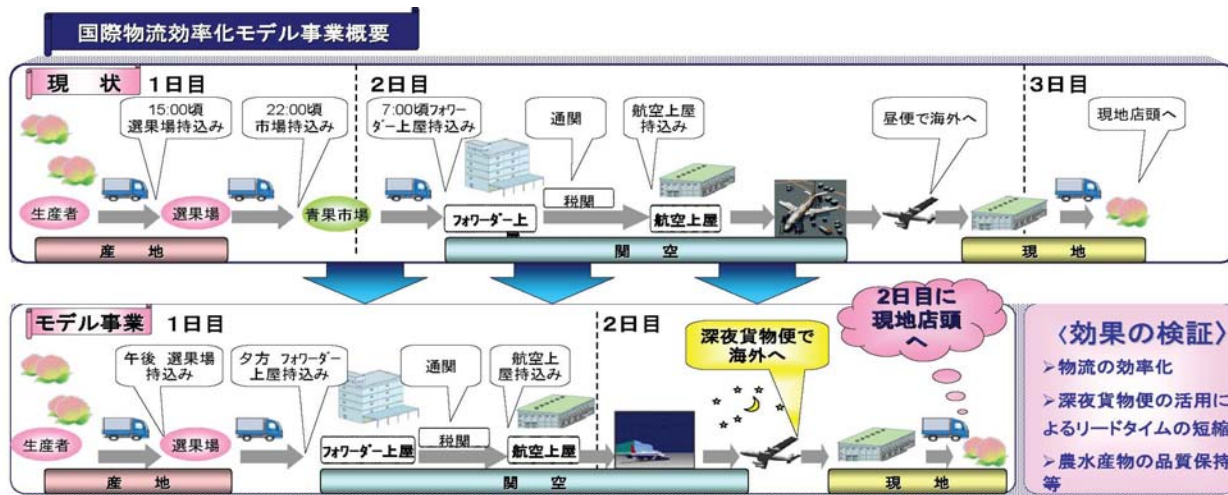
本調査は、近畿圏等で生産され海外へ出荷される農産物の輸出について、関西国際空港の深夜貨物便の活用によるモデル事業を実施し、産地からの輸送効率化、リードタイム短縮、品質保持などの効果を検証することにより課題を分析・評価し、最適物流ネットワーク確立に向けた提言を取りまとめることを目的に実施した。

## 関空深夜貨物便を活用したモデル事業の概要および実施結果

### 1. 事業概要

当日に収穫・選果した生鮮果実を、関空深夜貨物便を利用して2日目には現地店頭で販売できる行程で、輸出モデル事業を実施

項目/品目	大阪産「ぶどう」	和歌山県産「もも」	奈良県産「かき」
輸出先	香港	香港	シンガポール
数量	4ケース（10パック/ケース）	5ケース（13個/ケース）	20ケース（11個/ケース）
出荷地	大阪府南河内郡	和歌山県紀の川市	奈良県五條市
販売地	香港九龍	香港九龍	シンガポール
実施日	H20. 8. 8	H20. 8. 18	H20. 12. 9



### ～モデル事業実施風景～



出荷



梱包・通関



コンテナ積付



積み込み

## 2. 実施結果(分析・評価)

### リードタイムの短縮

・国内及び現地の輸送部分で、通常の場合より大きなリードタイムの短縮効果(約1日間)があった。

### 品質の保持

・リードタイムの短縮効果により鮮度の劣化や荷傷みがなく、販売期間も長く設定できたことから、通常10%程度発生する廃棄や売れ残りのリスクを大幅に軽減する効果が確認できた。

### 輸送コスト

・国内及び現地の輸送部分で、既存の輸送トラックとの調整(輸送先、時刻等)が困難であったのでトラックを単独チャーターしたが、数量が少なかったため単価あたりの輸送コストが増加した。また、一部のモデル事業で、フォワーダー上屋の取扱手数料について深夜割増料金(100ケース換算で輸出関連費用の2%程度)が発生した。

### モデル事業の効果

・品質保持による売れ残りリスクを軽減する効果が確認され、通常の商業ベースでの輸出量に換算するとフォワーダー取扱手数料の深夜割増料金のコスト増は吸収できるので、全体的な評価として深夜貨物便を活用して農産物を輸出する有効性を確認できた。

## 関空深夜貨物便利用促進に向けての農水産物物流最適化の課題と最適物流ネットワーク確立に向けた提言(まとめ)

### 1. 課題

#### 生産地

- ・時間単位の鮮度を付加価値とする輸出農産物の確保
- ・深夜便活用に適した収穫・出荷行程の調整

#### 国内輸送

- ・深夜便活用に適した産地～空港間の輸送行程の構築
- ・輸送コストの低減

#### 航空輸送

- ・時間外手数料等への対処
- ・出発までの待機時間の保管方法等

#### 現地輸送

- ・時間及びロット数等における現地輸送システムとのマッチング

#### 現地販売

- ・リードタイムの短縮を活かした販売時期の調整
- ・時間価値・付加価値の高い農産品のPR

#### その他

- ・リードタイム短縮の最大の効果である鮮度を維持する高度な物流システム

### 2. 提言

- 輸出農産物等について

#### 「関西ブランド」としての種類の多様化と量の確保

国内において高い評価を受けている農産物等の中から、航空便に適したものを掘り起こし、品揃えの多様化と数量の拡大を図ることが必要である。

#### 出荷圏域の拡大

近畿圏に限らず広い圏域から、農産物を集荷できる流通体制を整備することが必要である。

## 輸出圏域の拡大

関空深夜便利用で翌日早朝に現地到着が可能な韓国、中国、中東、欧州などの都市・地域へ消費市場を拡げるとともに、これらの海外都市へ航空路線の設定が可能となるよう関係機関に働きかけていくことが必要である。

### □ 物流システムについて

## 輸送行程の効率化

生鮮農産物は、品質保持のためできる限り積み替えが輸送行程で生じないことが望ましいことから、すでに行われているインタクト輸送のような積み替え回数の軽減とリードタイム短縮が可能な輸送システムの検討が必要である。

## 関西国際空港の低温庫の活用・拡充と品質保持の工夫

関空島内には国内最大級の低温庫が整備されており、施設の積極的な利活用が望まれる。また、温度管理が可能な航空輸送コンテナの利用や荷傷み防止・検疫対策のための生鮮農産物専用梱包材の開発・梱包方法の工夫などが望まれる。

## 国内輸送行程における共同配送システムの検討

生産地あるいは輸出業者間において輸送コストを低下させるためには、空港向け農産物の共同配送の検討も有効である。

## 関西国際空港の利用コスト低減の検討

生鮮貨物取扱実績をさらに拡大していくには、エアライン、フォワーダーが一層利用しやすくなるよう着陸料に加え、その他の施設利用料を低減していくとともに、貨物ハンドリング機能の向上のため関空2期島貨物施設の整備が必要である。

### □ 取り組み体制について

## 関空貨物深夜便の利用促進に向けた農産物輸出取り組み体制の整備

海外のバイヤーや消費者に対し、近畿圏を中心とする各地の輸出向け農産物の特色を、輸出先の言語で紹介するホームページや販売フェアの継続実施など情報発信機能の強化が必要である。

農産物輸出事業をビジネスとして実施することのできるコーディネータを育成していくことが必要である。また、コーディネータによって生産者、輸出入業者、販売店の連携を図るとともに、フォワーダーなどの参加により流行程全般を管理し、SCM(サプライチェーンマネジメント)化することが必要である。

ビジネスで輸出事業を行うには、輸出ロットが大きくなるほどリスクも大きくなることから、リスクを分散できる取り組み体制を整備していく必要がある。

## 近畿圏における今後の輸出促進に向けて

農林水産物の包括的な輸出支援を行う「近畿地域農林水産物等輸出促進協議会」(事務局:近畿農政局)のほか、関西の物流機能強化の一環として関西空港の活用を推進する「関西国際戦略チーム」(事務局:関西経済連合会・近畿地方整備局・近畿運輸局・大阪航空局)や関空2期事業の推進や利用促進・活性化に取り組む「関西国際空港全体構想促進協議会」(事務局:大阪府にぎわい創造部)を活用しながら、生産者団体・輸出事業者は、時間価値の高い農産物の種類と数量の確保、海外への情報発信、出荷圏域及び輸出圏域の拡大に取り組んでいくことが望まれ、フォワーダー・エアライン・関空会社においては、生鮮施設の活用や輸送行程の効率化に取り組んでいくことが必要である。

～ 関空深夜貨物便を活用した農産物最適物流ネットワーク確立に向けて～

生産者・輸出事業者・フォワーダー・エアライン・関西国際空港(株)・関係行政機関が連携して、関空深夜貨物便を活用した近畿圏全体の農産物輸出の促進を図る。

